東林館高等学校　通信教育実施計画

科目名（単位数）	家庭基礎（2）		
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数
原則3年次	通年	4	4

科目の概要	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
科目の目標	(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
実習①（ポケットティッシュケース）	・布の裏面に6本線を引く ・布の両端を線に合わせて折り、波縫いで縫い留める ・波縫いをした片側に刺繍をする	1		前期
授業①「食生活をつくる」	自身の食生活を振り返るとともに、食に関する知識を付け、これからの食生活について考える	2		
第1章　生涯を見通す 第2章　人生をつくる 第3章　子どもと共に育つ	・自立した生活を営むために，生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し，生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるようさまざまな生き方について理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか，仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考えて、実践しようとする。□ ・子どもの生活習慣や衣食住について理解し、子どもが健やかに育つ社会の実現に向けて，考えて実践しようとする。また、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達、現代の子育て環境の変化・課題について理解する。		1	
第6章　食生活をつくる	・よりよい食習慣を身につけ，生涯を健康に過ごすために，栄養素の種類や食品の栄養的特質・調理性について理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方，保存や加工の方法，食中毒や食物アレルギー，安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために，各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解する。		2	
実習②（ポケットティッシュケース）	・ボタンを縫い付ける ・布を重ねて返し縫いで縫い合わせる ・裏返して形を整える	3		後期
授業②「経済生活を営む」	自立した消費者として、適切に意思決定を行うための知識を身につけ、自身の生活と関連付けて考える	4		
第7章　衣生活をつくる 第8章　住生活をつくる	・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう，防災，日照，換気などに関する環境性能について理解を深め，快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。		3	
第4章　超高齢社会を共に生きる 第5章　共に生き、共に支える	・超高齢社会の課題を踏まえて，自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに，地域社会の一員として高齢者との関わり方を考える。 ・誰もが生涯を通して自分の力を生かし，必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて，家族・家庭生活を支える福祉について理解する。			
第9章　経済生活を営む	・自立した責任ある消費者としてよりよい意思決定ができるよう，現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう，契約の重要性について理解する。		4	

評価方法	年度末の成績評価は　レポート・実技・スクーリング・試験　によって決定する。 〇レポート：全4回。教科書や学習書を活用し,取り組むこと。 〇実技：授業内で製作する課題への取り組み。 〇スクーリング：年間計画に従い、授業・実技を実施する。 〇試験の得点：追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。
単位の修得	①レポート：締め切りまでに所定のレポートを提出し,合格すること。 ②スクーリング：年間4時間出席すること。 ③試験：前期試験,後期試験を受けること。

使用教科書等	「家庭基礎　自立・共生・創造」　東京書籍
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし,レポートに取り組みましょう。